



小児突然死解明の現状と将来への展望

第30回

日本小児突然死予防医学会学術集会

(旧 日本SIDS・乳幼児突然死予防学会)

プログラム・抄録集

会期

2025年2月8日(土)～9日(日)

会場

東京都立小児総合医療センター
講堂フォレスト

(JR西国分寺駅からバス10分)

会長

松岡 健太郎 (東京都立小児総合医療センター 病理診断科)

第30回 日本小児突然死予防医学会 学術集会

(旧 日本SIDS・乳幼児突然死予防学会)

小児突然死解明の現状と 将来への展望

プログラム・抄録集

会期

2025年2月8日(土)～9日(日)

会場

**東京都立小児総合医療センター
講堂フォレスト**

(JR西国分寺駅からバス10分)

会長

松岡 健太郎

(東京都立小児総合医療センター 病理診断科)

第30回日本小児突然死予防医学会学術集会 事務局

東京都立病院機構 小児総合医療センター 病理診断科

〒183-8561 東京都府中市武蔵台2丁目8-29 TEL: 042-300-5111

E-mail: 30jpsudctokyo@gmail.com

第30回日本小児突然死予防医学会学術集会

会長挨拶

小児突然死解明の現状と将来展望

第30回日本小児突然死予防医学会学術集会

会長 松岡 健太郎

東京都立小児総合医療センター 病理診断科



このたび、第30回日本小児突然死予防医学会学術集会を、2025年2月8(土)～9日(日)に、東京都立小児総合医療センターにいて開催させていただき運びとなりました。

日本小児突然死予防医学会は小児科医・法医学者・病理医さらにはコメディカルの方々も含め、小児の予期せぬ死亡を予防してゆくために相互の垣根を超えて共に学ぶ、大変ユニークな学会です。本学会は昨年まで“日本 SIDS・乳幼児突然死予防医学会”という名称で活動しておりましたが、取り組む領域・検討対象を「すべての小児死亡症例」として、わが国の小児死亡検証における中心学会としての役割・使命を果たしていくという目標を掲げ、“日本小児突然死予防医学会”と改称しました。今回、新学会名の元で開催する初めての学術集会を開催させていただき大変光栄に存じます。

私たちよりもずっと未来の世代を担う存在であるべき子供が、予期せぬ事故、病気で亡くなってしまうのは家族のみならず、社会全体の悲しみであり、本来あってはならないことです。小児突然死の原因を解明し、その予防に取り組むことは社会全体の責務であり、われわれ医療者が率先してその重要な役割を果たすことが不可欠です。本学術集会を通じ、小児科・法医・病理、さらにはコメディカルという専門性、職種の枠を超えて会員が相互に知見・意見を交換することにより、子供たちの将来を安全かつ安心なものとしてゆきたいものです。

本学術集会では、この目的を達成するために、この分野の現状と将来の展望を明らかにしたいと、特別講演1題、教育講演4題、シンポジウム3テーマおよび一般演題を企画しています。まず、特別講演では石見拓先生(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻予防医療学分野)に「体育活動時等における事故対応テキスト」として知られる【ASUKA モデル】についてご講演いただきます。教育講演では、病理学・法医学の立場から松山高明先生(昭和大学法医学教室)、新井信隆先生(東京都医学総合研究所)に病理解剖学的な知見をご教授いただきます。また、臨床の現場の立場から、濱田洋通先生(千葉大学小児科)には循環器疾患究明のための医療整備と地域連携について、井原哲先生(東京都立小児総合医療センター脳神経外科)には虐待による乳幼児頭部外傷についてお話しいただきます。また、シンポジウムとして、本会のメインテーマである“小児突然死解明の現状と将来への展望”について4名の気鋭の先生方にご講演いただきます。さらにチャイルドデスレビュー(モデレーター：名古屋市立大学救急科 沼口敦先生)、グリーフケア(モデレーター：東京都立多摩北部医療センター小児科 小保内俊雅先生)を企画しています。一般演題も12題あり、疫学的内容から症例検討まで幅広くご応募いただきました。

西国分寺は東京駅から45分ほど、羽田からも1時間半のところにあります。東京都立小児総合医療センターのある多摩メディカル・キャンパスは、東京西部多摩地区の高度・先進的な医療の拠点で、都立多摩総合医療センター、都立神経病院と相互に連携し、この地域の医療を支えています。

盛りだくさんの内容でややタイトなスケジュールとなっておりますが、活発な議論ができるようスタッフ一同準備を進めてまいりました。武蔵野の面影を残す当地にてみなさまにお会いすることができればこの上ない幸せと存じます。

学術集会 歴代会長

開催年	開催回	開催地	会 長
平成 7 年	第 1 回	東京	仁志田博司(東京女子医科大学母子総合医療センター)
平成 8 年	第 2 回	愛知	戸荊 創(名古屋市立大学小児科)
平成 9 年	第 3 回	京都	水田 隆三(京都第二赤十字病院小児科)
平成10年	第 4 回	東京	高嶋 幸男(国立精神・神経センター疾病研究第二部)
平成11年	第 5 回	大阪	的場 梁次(大阪大学医学部法医学)
平成12年	第 6 回	東京	澤口 彰子(東京女子医科大学法医学)
平成13年	第 7 回	東京	宮坂 勝之(国立小児病院麻酔集中治療科)
平成14年	第 8 回	大阪	中山 雅弘(大阪府立母子保健総合医療センター検査科)
平成15年	第 9 回	福岡	市川光太郎(北九州市立八幡病院救命救急センター)
平成16年	第10回	埼玉	山南 貞夫(川口市立医療センター新生児集中治療科)
平成17年	第11回	岩手	青木 康博(岩手医科大学法医学)
平成18年	第12回	兵庫	中村 肇(兵庫県立こども病院)
平成19年	第13回	福岡	高嶋 幸男(国際医療福祉大学)
平成20年	第14回	岐阜	武内 康雄(岐阜大学大学院医学系研究科法医学分野)
平成21年	第15回	千葉	長谷川久弥(松戸市立病院新生児科)
平成22年	第16回	東京	中川 聡(国立成育医療センター手術集中治療部)
平成23年	第17回	島根	山口 清次(島根大学医学部小児科教授)
平成24年	第18回	東京	山中 龍宏(緑園こどもクリニック、産総研傷害予防工学研究チーム)
平成25年	第19回	福岡	池田 典昭(九州大学大学院医学研究院法医学分野)
平成26年	第20回	埼玉	加藤 稲子(埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター新生児部門)
平成27年	第21回	長野	小木曾嘉文(長野県立こども病院臨床検査科)
平成28年	第22回	横浜	大澤 資樹(東海大学医学部基盤診療学系法医学)
平成29年	第23回	三重	成田 正明(三重大学大学院医学系研究科発生再生医学)
平成30年	第24回	京都	長村 敏生(京都第二赤十字病院小児科)
平成31年	第25回	岡山	宮石 智(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科法医学分野)
令和 2 年	第26回	東京	河島 尚志(東京医科大学小児科・思春期科) ※ Web 開催
令和 4 年	第27回	東京	窪田 満(国立成育医療研究センター総合診療部) ※ Web 開催
令和 5 年	第28回	神戸	上野 易弘(神戸大学医学部法医学教室)
令和 6 年	第29回	福岡	神蘭 淳司(社会医療法人聖ルチア会 聖ルチア病院)

【今 回】 令和7年 第30回 東京 松岡健太郎(東京都立小児総合医療センター病理診断科)

【次 回】 令和8年 第31回

開催日：2026年2月7日(土)～8日(日)

会 長：小保内俊雅(東京都立多摩北部医療センター小児科)

交通のご案内

学会会場：東京都立小児総合医療センター 講堂 フォレスト

〒183-8561 東京都府中市武蔵台 2-8-29

■会場へのアクセス

●JR中央線西国分寺（南口）

東京から50分、新宿から30分、八王子から17分、立川から5分

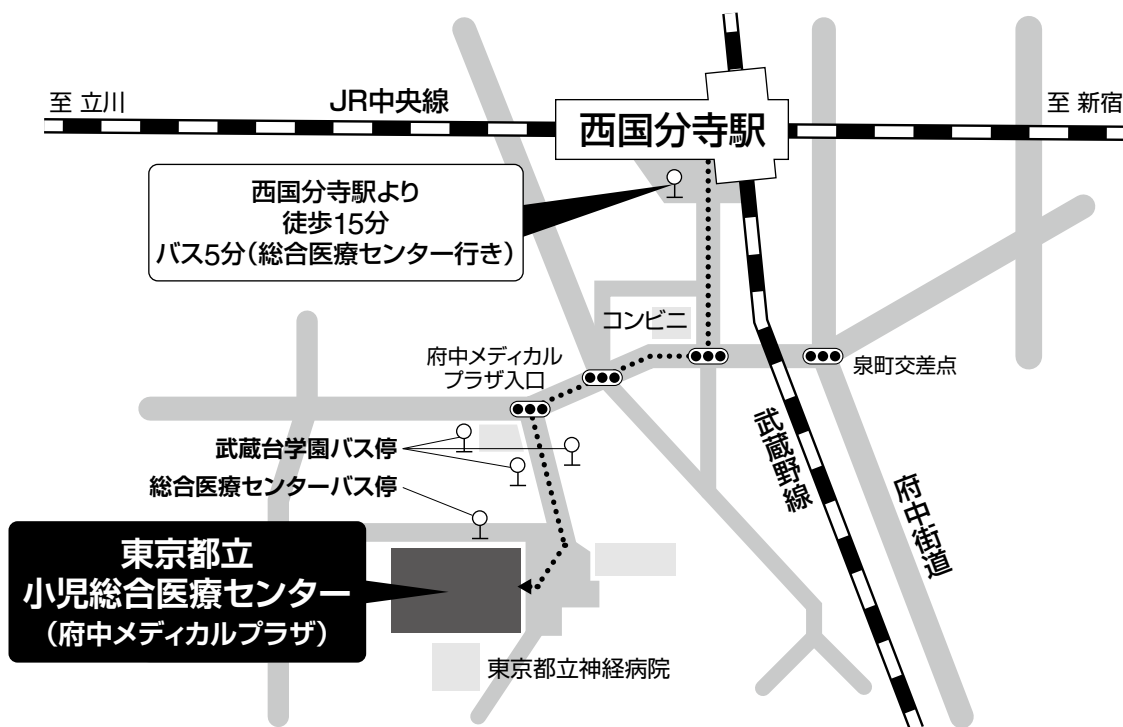
特別快速（中央特快、青梅特快、ホリデー快速）、特急は停車しませんので、乗り継ぎにはご注意ください。

※西国分寺駅のほかにもJR中央線国分寺、国立、京王線府中各駅からも京王バスが利用できます。詳しくは京王バスのHP (<https://www.keio-bus.com/bus/>) をご確認ください。

※西国分寺駅前で待機タクシーはほとんどありませんのでご注意ください。

※駐車場は有料です（300円／10分）。

なるべく公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。



●JR中央線 西国分寺駅（南口）より 徒歩 15分

京王バス総合医療センター行き（のりば）時刻表はこちらから。

- （行き）西国分寺駅発総合医療センター（会場）行き時刻表 ➡



- （帰り）総合医療センター（会場）発西国分寺駅行き時刻表 ➡



土日ダイヤのため本数が少なくなっておりますのでご注意ください。

会場案内

- 2月8日（土）は防災訓練を行なっておりご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、あらかじめご了承ください。
- 会場（都立小児総合医療センター講堂フォレスト）は正面エントランス入ってすぐです。



開催案内

学 会 名 第30回日本小児突然死予防医学会学術集会

テ ー マ 小児突然死解明の現状と将来への展望

学 会 長 松岡 健太郎(東京都立小児総合医療センター 病理診断科)

副学会長 小保内 俊雅(東京都立多摩北部医療センター 小児科)

事務局長 濱保 英樹(東京都立小児総合医療センター 病理診断科)

事 務 局 牧本 敦(東京都立小児総合医療センター 輸血科)

田頭 周(東京都立多摩北部医療センター 病理診断科)

会 期 2025年2月8日(土)～9日(日)

会 場 東京都立小児総合医療センター 講堂 フォレスト

〒183-8561 東京都府中市武蔵台2-8-29

【委員会】

理 事 会 講堂フォレスト 2025年2月8日(土) 9:00～10:00

評議員会 講堂フォレスト 2025年2月8日(土) 10:15～10:45

会員総会 講堂フォレスト 2025年2月9日(日) 12:05～12:30

症例検討委員会 講堂フォレスト 2025年2月8日(土) 11:00～12:00
(症例検討委員会への医師会員の参加は自由です)

【後 援】

地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター

ご参加の皆様へ

1. 参加受付

- 2月8日(土)は午前9時30分～、2月9日(日)は午前7時50分～
- 会場にクロークは設営しておりません。荷物置き場を会場の周囲に設置しますので大きなお荷物はそちらに置いてください。なお、貴重品の管理は参加者各位にてよろしくお願いします。
- 会場内では必ず名札をお付けください。
- 名札はご自身で事前に印刷して当日お持ちください。ホルダーは用意します。
- 会場内での撮影、録音はご遠慮ください。
- 病院敷地内に喫煙スペースはありません。
- マスクの着用は個人の判断にお任せします。

2. 幹事会

- 2月8日(土) 午前9時から講堂にて行います。

3. 評議員会

- 2月8日(土) 幹事会終了後、講堂にて行います。

4. 症例検討委員会

- 2月8日(土) 評議員会終了後、講堂にて行います。
- 医師会員の参加は自由です。

5. 単位取得について

- 日本法医学会法医認定医 研修記録3単位
- 日本法医学会死体検案認定医 研修記録3単位
(上記については大会に参加すれば単位が取得できます)
- 日本小児科学会小児科領域講習 教育講演(4題) 各1単位

教育講演①「循環器疾患と突然死の病理学 刺激伝導系の解剖学」2月8日(土) 12時30分～13時30分、教育講演②「小児突然死における循環器疾患解明のための医療整備と地域連携」2月8日(土) 15時20分～16時20分、教育講演③「脳の発生発育の神経病理」2月9日(日) 12時30分～13時30分、教育講演④「虐待による乳幼児頭部外傷」2月9日(日) 13時35分～14時35分は、いずれも日本小児科学会小児科領域講習(各1単位)が取得できます。受講者には参加証明書をお渡しします。

6. 昼食について

- 施設近隣に飲食店はありません。
- お弁当のご予約をいただいた方にはホワイエにてお渡しします。
- 施設内にはコンビニエンスストア(ローソン)、ドトールコーヒー、レストランけやきがあります。
- 会場内でご飲食可能ですが、会場の美化にご協力ください。なお、休憩所はございません。

7. 懇親会

- 18時45分より、2階 ラウンジにて行います。スタッフの誘導に従って移動願います。
- 懇親会参加登録、お弁当予約は事前登録制ですのでご注意ください。

座長・発表者へのご案内

座長および演者の方は、予定時刻の10分前に演台近くの席にご着席ください。

【座長の皆様へ】

1) 一般演題

1 演題 10 分（発表 7 分、質疑応答 3 分）です。時間厳守の進行をお願いします。
セッションの開始時間は繰り上げませんので、時間になりましたら開始してください。
発表者の欠席が出た場合は、セッション内で発表を繰り上げて進行してください。

2) 特別講演、教育講演、シンポジウム

各セッションの進行は座長にお任せします。
座長の方は演者・シンポジストと打ち合わせのうち時間内に終了するように進行をお願いします。

【発表者の皆様へ】

1) 発表時間

- ・特別講演および教育講演 各 60 分
 - ・シンポジウム 1・3 各セッションの進行は座長に一任しております。発表時間は座長の指示に従ってください。全発表後総合討論を行います。
 - ・シンポジウム 2 発表 25 分、質疑応答 5 分（総合討論はありません）。
 - ・一般演題 発表 7 分、質疑応答 3 分
- ※発表は時間厳守をお願いします。

2) スライドは PowerPoint で作成してください（スライドサイズ 16：9）。

3) 発表の 30 分前までに PC 受付にてデータ登録と試写をお済ませください。

4) データ受付時間 2024 年 2 月 8 日（土）9：30～18：00
2024 年 2 月 9 日（日）7：50～15：00

5) データ受付場所 会場横ホワイエ

6) データは USB メモリでお持ち込みください。その際、最新のセキュリティソフトでメディアにウイルスが感染していないことを必ずご確認ください。

7) 発表ファイル名は「演題番号_名前（フルネーム）」とし、演題番号は半角で入力してください。

8) スライドのコマ送りは原則として発表者自身で行ってください。

9) 利益相反 COI の申告について；筆頭発表者は該当する COI 状態について、発表スライドの最初、または演題・発表者等を紹介するスライドの次に開示してください。

日 程 表

1日目 2月8日 ^土	
東京都立小児総合医療センター 講堂フォレスト	
9:00	9:00～10:00 理 事 会
10:00	10:15～10:45 評 議 員 会
11:00	11:00～12:00 症例検討委員会
12:00	12:25～12:30 開 会
13:00	12:30～13:30 教育講演1 循環器疾患と突然死の病理学 ～刺激伝導系の解剖学 演者：松山 高明 座長：小木曾 嘉文
14:00	13:40～15:10 シンポジウム1 死因究明から CDR へ シンポジスト：福嶋 佳菜子 松永 綾子 山本 琢磨 土田 哲也 佐々木 理 モデレーター：沼口 敦 小谷 泰一
15:00	15:20～16:20 教育講演2 小児突然死における循環器疾患解明のための 医療整備と地域連携 演者：濱田 洋通 座長：中川 聡
16:00	16:25～17:25 一般演題1 小児突然死の診断・疫学研究 座長：福田 真未子 森地 振一郎
17:00	17:30～18:30 特別講演 ～AED 市民解禁から 20 年 小児突然死を減らすために出来ること～ 『ASUKA モデル』から学ぶ学校での危機管理体制の 構築から、原因究明、PHR を活用した予防戦略まで 演者：石見 拓 座長：長村 敏生
18:00	18:40～19:40 懇 親 会

2日目 2月9日 ^日	
東京都立小児総合医療センター 講堂フォレスト	
8:00	8:25～9:25 一般演題2 症例報告・その他 座長：山本 琢磨 松永 綾子
9:00	9:35～11:35 シンポジウム2 小児突然死解明の現状と 将来への展望 シンポジスト：森地 振一郎 北見 欣一 長谷川 有紀 福田 憲太郎 座長：松岡 健太郎
10:00	
11:00	
12:00	12:05～12:30 総会・症例検討委員会報告
13:00	12:30～13:30 教育講演3 脳の発生発育の神経病理 — 予期せぬ突然死例で確認すべき微細所見について 演者：新井 信隆 座長：濱保 英樹
14:00	13:35～14:35 教育講演4 虐待による乳幼児頭部外傷 演者：井原 哲 座長：垣本 由布
15:00	14:45～16:15 シンポジウム3 突然死ご遺族の悲嘆に寄り添う 突然死発生直後の混乱に直面するご遺族への医療者の対応 シンポジスト：堀川 美都江 今村 知彦 吉野 菜穂子 永尾 るみ子 ファシリテーター：小保内 俊雅
16:00	16:15～16:30 閉 会

プログラム

2025年2月8日(土)

東京都立小児総合医療センター 講堂フォレスト

12:25～12:30 **開 会**

会長：松岡 健太郎(東京都立小児総合医療センター 病理診断科)

12:30～13:30 **教育講演1**

座長：小木曽 嘉文(長野県立こども病院 臨床検査科)

循環器疾患と突然死の病理学 ～刺激伝導系の解剖学

松山 高明(まつやま たかあき) 昭和大学 医学部 法医学講座

13:40～15:10 **シンポジウム1**

モデレーター：沼口 敦(名古屋大学医学部附属病院 救急・内科系集中治療部)

小谷 泰一(三重大学大学院 医学系研究科 法医学科学分野)

[死因究明から CDR へ]

S1-1 死後遺伝学的検査を取り入れた死因究明の推進のために

○福島 佳菜子(ふくしま かなこ)
国際医療福祉大学大学院 遺伝カウンセリング分野

S1-2 臨床医からみる死因究明の現状と課題

○松永 綾子(まつなが あやこ)
聖マリアンナ医科大学 小児科

S1-3 法医学からみる死因究明の現状と課題

○山本 琢磨(やまもと たくま)
兵庫医科大学 法医学

S1-4 CDR モデル事業とは何か

○土田 哲也(つちだ てつや)
こども家庭庁 成育局 母子保健課 母子保健感染症対策専門官

S1-5 死因究明から CDR へ

○佐々木 理(ささき おさむ)
天使病院 小児科

総合討論

座長：中川 聡（国立成育医療研究センター 医療安全管理室長、手術・集中治療部 集中治療科 診療部長）

小児突然死における循環器疾患解明のための 医療整備と地域連携

濱田 洋通（はまだ ひろみち）

千葉大学医学部附属病院 小児科 科長

千葉大学大学院 医学研究院 小児病態学 教授

座長：福田 真未子（名古屋市立大学大学院 医学研究科 法医学分野）

森地 振一郎（東京医科大学 小児科・思春期科学分野）

〔小児突然死の診断・疫学研究〕

01-1 我が国の学校管理下で発生する児童生徒の心停止：記述疫学研究（2008-2021）

○清原 康介（きよはら こうすけ）¹⁾、鮎沢 衛²⁾、新田 雅彦³⁾、数土 武一郎¹⁾、石見 拓⁴⁾、
中田 研⁵⁾、喜多村 祐里⁵⁾、北村 哲久⁵⁾

1) 大妻女子大学、2) 神奈川工科大学、3) 大阪医科大学、4) 京都大学、5) 大阪大学

01-2 乳幼児の突然死に関与する因子や防止につながる対策の検討

○榛葉 頼子（しんば よりこ）¹⁾、安倍 優樹¹⁾、神山 孝憲¹⁾、三瀧 正秀¹⁾、山下 裕美²⁾、
竹居 セラ³⁾、村瀬 壮彦³⁾、池松 和哉¹⁾

1) 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 法医学分野、

2) 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 社会医療科学講座 歯科法医学分野、3) 香川大学 医学部 法医学

01-3 岡山県における小児死亡統計に基づく一考察

○宮石 智（みやいし さとる）、山崎 雪恵、谷口 香

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 法医学分野

01-4 第2期小児救急重篤疾患登録調査による18歳未満自殺事例の解析

○種市 尋宙（たねいち ひろみち）¹⁾²⁾、長村 敏生²⁾、清澤 伸幸²⁾、伊藤 陽里²⁾、沼口 敦³⁾

1) 富山大学 学術研究部医学系 小児科学、2) 日本小児救急医学会 調査研究委員会、

3) 日本小児科学会 予防のための子どもの死亡検証委員会

01-5 乳児の睡眠関連突然死の診断の現状

○沼口 敦（ぬまぐち あつし）¹⁾²⁾、石井 晃³⁾、青木 康博⁴⁾

1) 名古屋大学医学部附属病院 救急・内科系集中治療部、2) 名古屋大学 医学部 小児科学、

3) 名古屋大学大学院 医学系研究科 法医学・生命倫理学講座、4) 名古屋市立大学

01-6 突然死関連病態を有した小児病理解剖例の検討

○濱保 英樹（はまやす ひでき）、松岡 健太郎

東京都立小児総合医療センター 病理診断科

座長：長村 敏生（京都市子ども保健医療相談・事故防止センター）

～AED 市民解禁から 20 年 小児突然死を減らすために出来ること～
『ASUKA モデル』から学ぶ学校での危機管理体制の構築から、
原因究明、PHR を活用した予防戦略まで

石見 拓（いわみ たく） 京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 教授
（医学博士）

2025年2月9日(日)

東京都立小児総合医療センター 講堂フォレスト

8:25～9:25

一般演題2

座長：山本 琢磨(兵庫医科大学 法医学講座)

松永 綾子(聖マリアンナ医科大学 小児科)

[症例報告・その他]

02-1 COVID-19罹患に関連して劇症型心筋炎を発症し死亡した女児の一部検例

○鴨川 敬(かもがわ さとし)、佐藤 文子、入江 渉、佐々木 千寿子、落合 恵理子、中丸 尚美、
阪本 桃子、長門 純平

北里大学 医学部 法医学

02-2 腸管粘膜障害により腹部膨満および敗血症性ショックに陥り、 救命困難であった1乳児例

○村田 慧(むらた さとし)¹⁾、谷澤 直子¹⁾、大谷 宗理²⁾、吉田 牧子²⁾、大田 里菜¹⁾、松永 理¹⁾、
松井 鋭¹⁾、田中 亮二郎¹⁾

1) 兵庫県立こども病院 救急科、2) 兵庫県立こども病院 病理診断科

02-3 発作性心静止を伴う新生児期発症のてんかん性脳症

○齊藤 悠(さいとう ゆう)、平岩 明子、眞島 星利奈、村上 将啓、寺下 新太郎、高崎 麻美、
種市 尋宙、今井 千速

富山大学附属病院 小児科

02-4 運動中に致死性不整脈をきたし、先天性冠動脈疾患と診断された2症例

○國松 将也(くにまつ まさや)¹⁾、奥主 健太郎¹⁾、葉 ゆり¹⁾、齋藤 直樹¹⁾²⁾、濱田 洋通¹⁾

1) 千葉大学医学部附属病院 小児科、2) 千葉大学大学院医学研究院附属法医学教育研究センター

02-5 乳児のおくるみ使用時における温熱環境の考察 — 予備的検討から —

○池田 理恵(いけだ りえ)¹⁾、角田 八千代²⁾、姫宮 彩子³⁾、川下 菜穂子⁴⁾、赤井 美智代⁵⁾

1) 和歌山県立医科大学、2) 岡山大学学術研究院 保健学域、3) 山口大学大学院 医学系研究科 法医学講座、
4) 新見公立大学 健康科学部、5) 山陽学園大学 看護学部

02-6 小児病理解剖例における網羅的遺伝子検索の有用性について

○渡辺 紀子(わたなべ のりこ)¹⁾、市村 香代子¹⁾、大場 大樹²⁾、大橋 博文²⁾、中澤 温子¹⁾³⁾

1) 埼玉県立小児医療センター 病理診断科、2) 埼玉県立小児医療センター 遺伝科、
3) 埼玉県立小児医療センター 臨床研究部

座長：松岡 健太郎（東京都立小児総合医療センター 病理診断科）

〔 小児突然死解明の現状と将来への展望 〕

S2-1 感染症に関連する突然死解明の現状と将来展望○森地 振一郎（もりち しんいちろう）
東京医科大学 小児科・思春期科学分野**S2-2 神経疾患に関連する突然死解明の現状と将来展望**○北見 欣一（きたみ よしかず）
国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 病態生化学研究部**S2-3 代謝性疾患に関連する突然死解明の現状と将来展望**○長谷川 有紀（はせがわ ゆき）
松江赤十字病院 第一小児科部**S2-4 Genomic autopsy の現状と将来展望**○福田 憲太郎（ふくだ けんたろう）
東京都立小児総合医療センター 遺伝診療科12:05～12:30 **総会・症例検討委員会報告**12:30～13:30 **教育講演3**

座長：濱保 英樹（東京都立小児総合医療センター 病理診断科）

**脳の発生発育の神経病理
— 予期せぬ突然死例で確認すべき微細所見について**

新井 信隆（あらい のぶたか） 東京都医学総合研究所 特別客員研究員

13:35～14:35 **教育講演4**

座長：垣本 由布（東海大学 医学部 基盤診療学系法医学）

虐待による乳幼児頭部外傷

井原 哲（いはら さとし） 都立小児総合医療センター 脳神経外科

ファシリテーター：小保内 俊雅（地方行政独立法人東京都立病院機構 東京都立多摩北部医療センター 小児科）

**[突然死ご遺族の悲嘆に寄り添う
突然死発生直後の混乱に直面するご遺族への医療者の対応]**

シンポジスト：

堀川 美都江（ほりかわ みつえ）

SIDS 家族の会

今村 知彦（いまむら ともひこ）

京都大学大学院 医学研究科社会健康医学系専攻 予防医療学分野

吉野 菜穂子（よしの なおこ）

公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合周産期母子医療センター NICU

永尾 るみ子（ながお るみこ）

一般社団法人日本医療メディエーター協会

会 長：松岡 健太郎（東京都立小児総合医療センター 病理診断科）

理 事 長：長村 敏生（京都市子ども保健医療相談・事故防止センター）

次期会長：小保内 俊雅（東京都立多摩北部医療センター 小児科）

特別講演

教育講演

シンポジウム

一般演題

第30回日本小児突然死予防医学会学術集会
プログラム・抄録集

会 長：松岡 健太郎

事務局：東京都立病院機構 小児総合医療センター 病理診断科
〒183-8561 東京都府中市武蔵台2丁目8-29
TEL：042-300-5111
E-mail：30jpsudctokyo@gmail.com

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>